

## 令和4年度 事業報告書

事業名	ごみ減量・リサイクルの推進	新規・継続区分	継続
事項名	ごみ減量・リサイクルの推進	開始年度	平成29年度
担当部署	広島市環境局環境政策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

- 本市では、広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画において、年間のごみ総排出量を平成25年度の371,937トンから令和6年度までに337,000トン以下にする削減目標を掲げている。この削減量の約34,900トンは、平成25年度に本市において発生した食品ロスの量に相当することから、ごみ排出量を削減するために、まずは、この食品ロスを削減することが喫緊の課題となっている。
- このため本市では、市民団体、事業者及び本市で構成する「広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会」において、市民・事業者・行政が一体となった食品ロス削減キャンペーン「スマイル！ひろしま」を平成29年から実施し、市民と事業者による食品ロスの発生・排出抑制やリサイクルに向けた意識の向上を図るとともに自主的な取組を促進するため、広島市環境保全事業基金実施計画により事業を実施する。

## 【目標】

毎年「広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会」がスーパーマーケット店頭で実施するアンケートにおいて、「手つかずの食品を捨てたことがある。」と回答した人の割合を、令和4年度は31.5%まで削減し、令和9年度には29%にする。

## 2. 概要

食品ロスの削減を推進するため、「広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会」を実施主体とする食品ロス削減キャンペーン「スマイル！ひろしま」を実施し、市民及び事業者によるごみの発生・排出抑制やリサイクルに向けた意識の向上を図るとともに自主的な取組を促進するため、次の取組を実施する。

<本事業で実施予定の取組>

- 食べ残しゼロ推進協力店及び食品ロス削減協力店の登録・PR
- 啓発用品等の貸出・配布
- 食品ロス削減イベントの実施
- 若い世代等に向けたエコクッキングレシピの作成とエコクッキング教室の開催等
- 食品リサイクル・ループの普及・啓発

## 3. 根拠法令等

食品ロスの削減の推進に関する法律、食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律

## 4. 実施内容等

- 食べ残しゼロ推進協力店及び食品ロス削減協力店の登録・PR  
食品ロス削減に向けた市民の協力と普及啓発のため、飲食店や宿泊施設等における料理の食べきりや食べ残しの持ち帰りなどを推進する「食べ残しゼロ推進協力店」とスーパーマーケットや百貨店における量り売りや小分け売りなどによる食品ロスの削減を推進する「食品ロス削減協力店」の登録・PRを実施した。  
なお、令和5年3月に「食べ残しゼロ推進協力店」を「食品ロス削減協力店」へ統合した際に新たに「食品ロス削減協力店」のステッカー等を作成・配布した（配布数：228枚）。
- 啓発用品等の貸出・配布  
イベント等で配布する啓発物品の購入するとともに、掲示用啓発パネルを作成した。啓発パネルは、地域での環境講座や学校での環境教育を支援するため、貸出を行った。  
また、市民へのごみ減量を呼びかけるマグネットシート等を作成し、市民が直接触れ合う機会が多いごみ収集車両に配付（配布数：116枚）した。  
なお、令和4年度に食べ残しゼロ推進協力店に配布を予定していた、食べ残しを持ち帰るための啓発用品（ドギーバッグ）については、新型コロナウイルス感染症の影響により店舗への配付が困難なため、令和5年度以降の実施とする。
- 食品ロス削減イベントの実施  
市内中心部において、市民を対象としたイベントを実施し、啓発物品の配布、啓発パネルの展示、フードドライブ、クイズなど、市民への啓発を行った（参加者数：350人）。
- 若い世代等に向けたエコクッキングレシピの作成とエコクッキング教室の開催等  
学生が考案したエコクッキングレシピを活用し、学生を講師としたエコクッキング教室を公民館等で開催した（参加者数：57人）。  
また、エコクッキングレシピの調理の様子などを撮影した動画を公開し、市民への周知啓発を図った。
- 食品リサイクル・ループの普及・啓発  
市民に食品リサイクル・ループの取組を知ってもらい、環境や食品ロス、食品リサイクルへの意識を高めてもらうことを目的に、食品リサイクル・ループをPRする啓発資料を作成・配布した（配布数：ポップ640枚・チラシ66,200枚）。

## アンケート結果

令和4年度に「広島市ごみ減量・リサイクル実行委員会」がスーパーマーケット店頭で実施するアンケートにおいて、「手つかずの食品を捨てたことがある。」と回答した人の割合は38.6%であった。